

つどう まなぶ むすぶ



よろこび

2019年6月号(No.21)

CONTENTS

- 2 東京2020オリ・パラ1年前イベント(予告)
- 2 オリピック・パラリンピックブース紹介
(豊郷公民館・豊津公民館)
- 3 市民センのひろば ほか
- 3 地域レポート・まちづくり探検隊
平井地区「ひらい砂の造形大会」
- 4 INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり
「鹿嶋市英語力向上スーパーバイザー
マイケル・デニングさん」



プチアラモード



かしま灘楽習塾
「道具を使って楽しい体づくり 3B体操」



アポロ



WILD KITTY's(ワイルドキティーズ)



かしま灘楽習塾
「Tea & "Manners"」



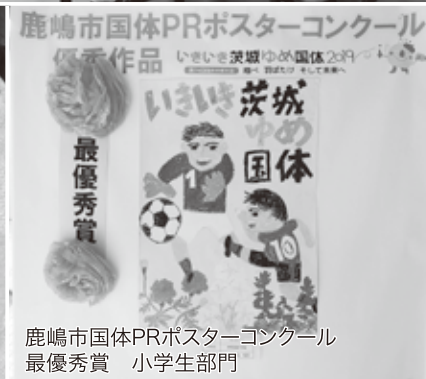
かしま灘楽習塾
「Tea & "Manners"」



かしま灘楽習塾
「日本の香り文化を楽しみ作る 火曜教室」



色えんぴつ画



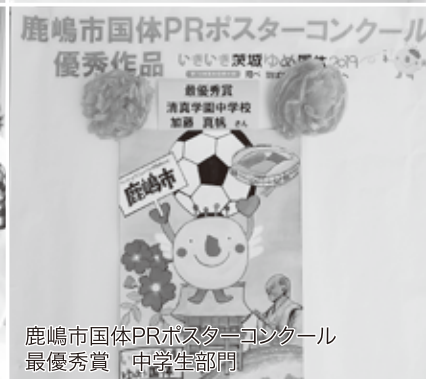
鹿嶋市国体PRポスターコンクール
最優秀賞 小学生部門



鹿嶋市美術連盟写真部作品展



かしま灘楽習塾
「～演歌は母音が大切～」



鹿嶋市国体PRポスターコンクール
最優秀賞 中学生部門

予告

東京2020 オリンピックが鹿嶋にやってくる！ 1年前イベントを開催！！

7/28(日)9:00~18:30 会場:まちづくり市民センター

鹿嶋の夏・
オリンピックで楽しむ

プログラム(予定)

- 鹿嶋市美術展覧会、生け花野外展、野点^{の だて}
- 野外ステージ発表
(ダンス、歌、音楽、和太鼓、踊り、etc)
- 各種模擬店(かき氷、焼きそば、etc)
- パラスポーツ体験コーナー
- 地区まちづくり委員会参加プログラム
- かしまスポーツクラブ夏祭り

主催：鹿嶋市まちづくり連絡協議会・NPO法人かしまスポーツクラブ
鹿嶋市・鹿嶋市教育委員会
主管：(仮称)オリンピックを楽しむ市民の会

オリンピック・パラリンピックブース紹介

● 豊郷公民館 ●



この大きな団幕と藍染は、郷っ子(豊郷の子ども)たちにオリンピックを意識してもらいたいという地域の思いから、郷っ子が自らの手で作ったものです。JAPAN BLUEに染まる藍染は郷っ子の個性に溢れています。



● 豊津公民館 ●



豊津小学校全生徒の手形が将来の夢とともに飾られています。また、写真展のブースでは、ホームページ等を活用し、世界に向けて豊津の風景を発信しています。ぜひ一度ご覧ください。



利用しています!!
しみせんの **ひろば**



Eフレンズ
相馬 敦子さん(宮中)

週に何度か市民センターを利用させていただいています。遠方から来てくださる先生のもと英語の勉強をしています。



かしま灘楽習塾「生活を彩る“トールペイント”」講師
大牧 時子さん(銚田市)

県花のバラや赤毛のアン等々を描く教室も2年目を迎えました。受講生の皆様の上達と繋がりの輪を感じ、こうして活動をさせていただけることに感謝しています。



鹿嶋市青少年育成市民会議
事務局長
市田 信道さん(宮中)

地域の宝である青少年の育成事業をとおして、多くの人とのふれあいを楽しみながら頑張っています。

地域レポート



まちづくり探検隊 (vol.21)



▲平成30年度ひらい砂の造形作品

平井地区 **地元の自然を最大限に活用**
～ひらい砂の造形大会～

平井海岸の砂浜を活用し、平井小学校児童と保護者、平井地区まちづくり委員会、平井地区子ども会育成会及び平井中学校生徒ボランティアが協力して、砂の造形物を作成し、交流を深めるとともに、ゴミのないきれいな海と自然を守る環境美化につなげることを目的に開催されています。かつては、平井小学校の伝統行事として行われていた事業ですが、東日本大震災により取りやめとなっていました。昨年(平成30年7月8日)7年ぶりに平井地区まちづくり委員会事業として復活し、当日は97名の平井小学校児童とその保護者、44名の平井中学校生徒ボランティア、鹿嶋ライフガード、平井地区まちづくり委員会委員など、総勢350名により開催されました。



▲まちづくり委員長堺田さん

平井地区まちづくり委員会堺田委員長は、「まささらな砂浜から創意工夫し、一緒に汗を流し、何もないところから一つの形を作り上げていくことは大変なことではありますが、地域のみなさんと一緒にコミュニケーションをとりながら、一つの目標に向かって取り組むことは貴重な経験であり、そこに生まれる子どもの自主性や親子の絆、人と人とのつながりなど、参加することで得られるものはたくさんあります。人と人とのつながりが希薄化してきていると言われていますが、この砂の造形大会をとおして、地域の人たちとのつきあいの大切さを知ってもらいたい」と話していました。

平井公民館上木館長は、「砂の造形大会開催のきっかけは、子どもたちに将来この地区で育ったことを誇りに思ってもらえるような事業をしたい。もう一度、砂の造形大会を復活できないかという地域の方からの声でした。開催に至るまでには、さまざまな課題もありましたが、一つ一つ地域のみなさんと話し合いを重ね、開催することができました。地域のみなさんの熱い想いがつまった事業です。参加者からは『楽しかった』『またやりたい』という声をいただいています。これからも住み続けたい魅力ある地域の実現に向けて、地域のみなさんと一緒に創っていきたいです。」と話していました。



▲平井公民館上木館長

掲 示 板

**令和元年度市民カレッジ
受講生募集**

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会鹿嶋市開催を前に、誰もが笑顔で輝き、オリンピックを楽しむための講座を開講します。

テーマ **オリンピック、楽しむことをはじめよう。**

	内 容	日 時	講 師
第1回	「オリンピックってなあに?」	7月13日(土) 13:30~16:30	鹿嶋市オリンピック・パラリンピック課職員
第2回	「歴史散策とスタジアム見学」	8月25日(日) 10:00~16:30	糸川 崇氏(郷土史研究家)
第3回	「気持ちを伝えるおもてなし・はじめの英会話」	9月29日(日) 13:30~16:30	西野 節美氏(国際交流協会副会長) 草野 マリー氏(交際交流協会会員)

- 対 象 市内在住・在勤・在学の方
- 定 員 20名(応募多数の場合抽選)
- 参 加 費 講座により実費負担
- 募 集 締 切 令和元年6月30日
- 申 込 方 法 下記窓口で直接申込むか、TELまたはFAX(氏名・性別・年齢・住所・電話番号を記載)
【申込先】鹿嶋市まちづくり市民センター
〒314-0031鹿嶋市宮中4631-1
TEL:83-1551/FAX:83-1553
(受付時間9:00~17:00 ※月曜休館)

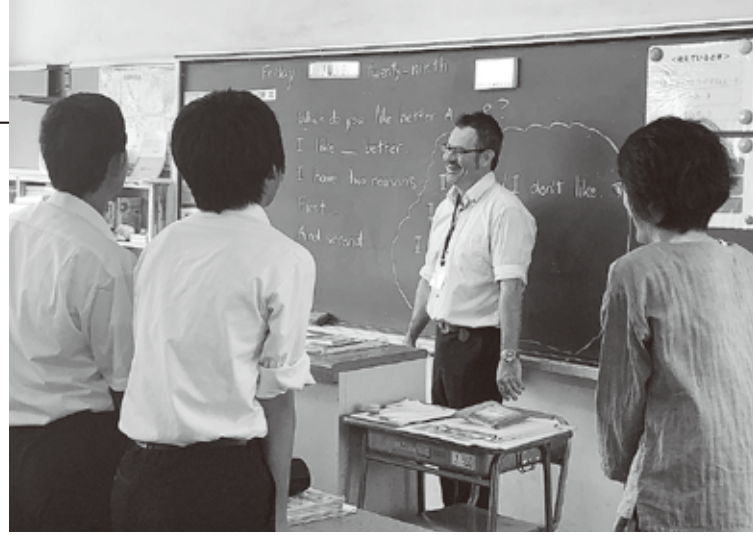
令和元年度
ひらい砂の造形大会

- 日 時 令和元年7月7日(日)午前9時30分~
- 開催場所 平井海岸の砂浜及び平井公民館
- 対 象 平井小学校児童および保護者、平井地区住民の方
- 主 催 平井地区まちづくり委員会
- 問合せ先 平井公民館(83-4228)
9:00~17:00※月曜休館

きらり★まちづくり (vol.21)

子どもの力を 引き出す授業を

鹿嶋市英語力向上スーパーバイザー
マイケル・デニングさん(宮中)



鹿嶋市での主な活動

昨年度から鹿嶋市英語力向上スーパーバイザーとして市役所に勤務しています。*ALTのトレーニングをはじめ、各小中学校の授業を参観して先生にアドバイスをしたり、中学生のオーストラリア派遣事業でオーストラリアの教育委員会との連携をしたりしています。また、2歳から大人までいろいろな年代の方に市内の様々な場所で英語を教えています。

鹿嶋市に来たきっかけ

鹿嶋市で働いていた友人がアメリカへ行くことになったため、2000年に後任として日本に来ないかという打診を受けました。その時私は出身国オーストラリアの政府の機関で生物的防除の研究をしていたのですが、都合により退職となりちょうど職探しをしていたところだったので、あまり深く考えることなく引き受けました。そのため、鹿嶋に来たことは運命のようでした。日本語でわかる言葉は『おはようございます』『こんにちは』だけでした。成田空港に着く30分前、私はどうしてここにいるんだろうと思いました

(笑)。鹿嶋の雰囲気はとてもしラックスできて、マイペースな私の性格に合っていて居心地がいいです。

鹿嶋市の英語教育

2000年に鹿嶋市に来て、最初は英語塾の講師をしながら幼稚園児に英語を教えていました。2004年からはALTとして鹿嶋市の小中学校児童・生徒の英語教育に携わってきました。鹿嶋市の子どもたちは元気でスポーツをする子が多いという印象をもっています。私は中学生を長年教えてきましたが、今の中学生の英語能力はどんどん上がっていて、何も見なくても頭で考えて会話ができるまでになっています。中学生は思春期の時期でもあり難しい部分もありますが、グループやペアを作って学ぶ等の工夫をして子どもたちみんなが参加するように授業を進めています。これからの課題としては、想像する力をつけ、会話を続けられるようにすること、そして自分の意見を持ちそれを口に出すことです。そのためには、例えば、国際的な情勢をテーマに調べて、それに対する自分の意見をディベートをする等、先生は学ぶための

材料だけ渡して、あとは子どもたちが考え、想像して、それについて自由に意見を言い合える雰囲気をつくる必要があると思います。

今後の目標と オリンピックに向けて

いつも満足できていません。改善点が毎回見つかります。毎年小中学校ともに英語のレベルが上がっていて、目標がどんどん高くなっています。子どもたちの想像する力を育み、自分に自信を持って、英語を学ぶことができるようにしていきたいです。

オリンピックに向けては、現在「FMかしま」でおもてなし英語の講座を放送したり、簡単なおもてなし英会話ボードを作成し、市役所やまちづくり市民センターに設置したりしています。おもてなしの英会話の講座等は、まだ頭の中で考えているところで、できたらいいなと思っています。

*ALT…小学校・中学校・高等学校での外国語授業の補助などを職務とする外国人講師。外国語指導助手。Assistant Language Teacherの略



PROFILE

■マイケル・デニング

出身：オーストラリア、ブリスベン

経歴：1997年 理学学士課程修了

2002年 日本語能力試験3級取得

2011年 大学院言語学課程修了

2014年 TESOL (他言語者に対する

英語教授) 修士課程修了

趣味：スポーツ、油絵、ギター、DIY、釣り、料理等